

令和4年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	46	学校名	静岡県立藤枝東高等学校	記載者	橋本 衛
------	----	-----	-------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
1	学ぶ意欲を喚起し、主体性を伸ばす授業や指導の改善等を進めることで、生徒の学力向上を図る。	アンケートで「学ぶ意欲を引き出す、学力が向上する授業が行われている」と回答する生徒・保護者が85%以上。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」に対する意識の高さ、工夫、改善の努力が素晴らしい。各担当部署すべてが意識しており、学校体制として取り組んでいるのがわかる。生徒や保護者にも伝わっている。 ・観点別評価の本来の目的は「生徒の学習改善」や「授業者の指導改善」にあるので、徐々に成果目標をその方向にシフトするべき。 ・ICTについて、多くの分掌の評価が高く、昨年よりも前進していることが窺える。機器に慣れるのではなく、機器を使った学習環境に慣れるため、先生方にも勉強をお願いしたい。 ・生徒は勉強や課題に追われて視野が狭くなってしまっていないか。立ち止まって考えたり、感じたりしながら成長させたい。
		全教職員が積極的、意欲的に指導の工夫、授業の改善に取り組む。	B	B	
		主体的な家庭学習で質と量が向上する。アンケートで「学ぶ意欲を引き出す、学力が向上する補講が行われている」と回答する生徒が80%以上。	B	B	
		観点別評価に関する結果の検証と課題の整理を行う。	B	B	
		総合的な探究の時間の指導計画及び各単元の指導内容が明確になる。	B	B	
2	生徒が高い志を抱き、その進路実現を果たすための適切な指導を行う。	アンケートで「志を育む指導が行われている、進路に関する情報が適切に提供されている」と回答する生徒・保護者が85%以上。進路意識を高める進路だより、学年だよりの一層の充実が図られる。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標には達していないが、進路に関するアンケートで生徒・保護者とも80%以上が当てはまると答えられており素晴らしい。 ・世の中の変化が激しいので、外部の講師を効果的に取り入れながら、広い視野で生徒たちの進路の広がりをサポートしてほしい。 ・補講に対するアンケート結果が、授業と比較すると低い状況である。改善の必要があるのではないかと。
		外部講師による補講や土曜補講について、アンケートで「進路実現に向けての学力向上、理解向上に役立った」と回答する生徒の割合が増加する。	C	C	
3	様々な学校行事等における協働を通じて、多様性、国際	アンケートで「学校行事に意欲的に取り組んだ」と回答する生徒95%以上。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍だったこともあり、生徒は意欲的に取り組む気持ちが強いのと思う。高校時代の大切な思い出になるので今後も盛り上げていただきたい。

様式第5号

	性、豊かな感性、思いやりの心等を育み、人間性を高める。	アンケートで「部活動に意欲的に取り組んだ」「活動内容や時間が適切である」と回答する生徒・保護者が90%以上。	A	A	・部活動において様々な経験を積むことは大切なこと。満足度も高いが、負担がかかり過ぎないように注意を。
4	社会に主体的にかかわり、正しい行いを通じて、自立した社会性・公共性を身につける。	全教職員による街頭（登校）指導の継続実施。自転車の整備点検の徹底。年間事故件数20件以下。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の件数が減少し、重大事故もなくよかった。生徒自身の意識の問題が大きいので、街頭指導以外の手立ても必要である。 ・校則についての認識は時代と共に変化していくが、生徒だけが満足するということはないはずなので、保護者からの同意があれば問題は少ないと感じる。 ・生徒が主体的に学ぶ姿勢を育成するためにも、外部の様々な活動に参加することは重要であり、それが探究的な活動にも繋がる。是非、積極的に勧めていただきたい。
		アンケートで「高校生活について適切に指導が行われている」と回答する生徒・保護者が90%以上。	B	B	
		生徒の積極的な参加や活動が増加する。	C	C	
		体罰・セクハラ及びいじめともにゼロ。アンケートで「頼れる先生がいる」と回答する生徒・保護者が85%以上。	B	B	
5	保護者・学校後援会・同窓会・地域等との連携の下、信頼され応援される学校づくりを進める。	進路支援員、図書支援員、スクールカウンセラーを継続配置。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員等を「なくてはならない存在」として位置付けている学校体制が素晴らしい。有効に活用できている証拠です。 ・日々の活動を丁寧に伝えていくことは大変だが、本校を希望する生徒のためにも、どんどん広報してほしい。 ・来校目的を達成しているという素晴らしい数字である。これに満足せず、中学生のニーズに合致する形で体験入学や公開授業を企画していただきたい。
		「情報を適切に伝えている」と回答する生徒・保護者が95%以上。	B	A	
		可能な限りPTA総会や各種行事の出席を促す。アンケートで「参考になった（良かった）」と回答する保護者95%以上。	B	B	
		アンケートで「来校目的を達成することができた、良かった」と回答する来校者100%。	B	B	
6	より良い学習環境の整備充実と安心安全な学校づくりを進める。	学校全体で、生徒の安心安全に対する意識が向上する。アンケートで「生徒の健康や安全に配慮がされている」と回答する生徒・保護者が95%以上。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスへの対応は本当に大変だったと思う。そんな中でも生徒が学校生活に満足し、保護者も安心して送り出せる学校となっているのだと感じる。 ・今後は地域の防災訓練なども再開される。高校生の積極的な参加を促したい。 ・新校舎の建設は楽しみであるが、在籍している生徒のために、次年度も施設整備の充実をお願いしたい。
		アンケートで「災害・非常時の避難方法や連絡方法を承知している」と回答する生徒・保護者90%以上。	B	B	
		アンケートで学校の施設や設備は適切に整備されている」と回答する生徒・保護者80%以上。	B	B	